

1. 評価報告概要表

【評価実施概要】

事業所番号	2472700414
法人名	医療法人 桜木記念病院
事業所名	グループホーム 桜木さん
所在地 (電話番号)	多気郡多気町仁田オシ山670-20 (電話) 0598-39-6262
評価機関名	三重県社会福祉協議会
所在地	津市桜橋2丁目131
訪問調査日	平成 20 年 12 月 2 日(火)

【情報提供票より】 (H20年10月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 12 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	11 人	常勤 8人, 非常勤 3人, 常勤換算 8人	

(2) 建物概要

建物構造	平屋 造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	14,000 円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(60,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,200円			

(4) 利用者の概要(10月20日現在)

利用者人数	18 名	男性	7 名	女性	11 名
要介護1	2 名	要介護2	6 名		
要介護3	7 名	要介護4	2 名		
要介護5	1 名	要支援2	1 名		
年齢	平均 83 歳	最低	67 歳	最高	98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人桜木記念病院
---------	------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

柿畑が目の前に広がっている。若葉の緑に始まり、柿がオレンジ色になってたわわに実をつける秋まで、自然の移ろいを毎日、居ながらにして感じることができる事業所である。気候が温暖な土地柄を反映してか、職員も穏やかで離職も少ない。世代の違う職員は、違いをそれぞれの特徴としてとらえ、一人ひとりが存在価値のある人として認めあっている。そのことが、利用者に対する態度にも反映され利用者を尊ぶ介護になっている。管理者の「利用者も職員もみんなが大事であり、家族である」という視点が生かされている結果でもある。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の改善課題については真摯に受け止められ、運営推進会議の開催は年6回のクリアを目指し、毎月開催するなどの努力をしている。市町との連携はよく図られ、家族への報告も毎月お便りを発行するように変更するなど、具体的な改善に努めている。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者とケアマネージャーが項目を職員に提示して職員の意見を吸い上げたうえで報告書の作成を行うなど、全体的に取り組んでいる。</p>
	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>年6回の開催を目標に、毎月会議を開催するなどして問題点を提示し検討してきたことで、回を重ねるに従い良い話し合いができるようになってきている。</p>
重点項目②	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族には毎月お便りを発行して、暮らしぶりや金銭出納などを報告している。四季報で事業所全体の様子も伝えている。家族からの意見収集は面会時に話を聞いている。運営推進会議には家族の出席もあり意見を運営に反映している。</p>
重点項目③	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>ボランティアの参加や中学生の職業実習の場として提供をしたり、近くの知的障害者施設との交流を図るなど地域との連携はしている。町のサークル活動で親しくなった方の訪問なども受けている。</p>
重点項目④	

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念は「尊び、心から尽くし、介護させていただく」となっている。しかし、地域密着型サービスを踏まえた理念であるとは言い難い。	○	理念に地域とのふれあいを謳ってはないが、地域との交流はすでに実践している。しかし、言葉の力は大きいことを意識し、地域密着を含んだ理念を作り上げることで、全職員が地域密着型の意義を見直す機会としていただくことを期待する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	それぞれのユニットには、利用者の筆による理念を掲示しており、利用者、職員ともによく理解し共有している。また、管理者は常日頃から「優しさをもって慌てることなく心をもってゆっくりと」など、理念を噛み砕いて伝えている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近隣に家はないが、自治会にも加入し運営推進会議には区長に出席を願うなど、できる範囲での地域との触れ合いを図っている。近くの知的障害者施設とも、ご近所さんとして交流を図っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価で指摘された項目には真摯に取り組み、運営推進会議の開催、お便りの毎月の発行と報告など改善に取り組んでいる。今回の評価についても、職員からの聞き取りを行い、管理者とケアマネージャーが意見集約をしている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年6回の開催を義務ととらえ、毎月開催し問題点を探ってきている。回数を重ねることで、よい話し合いが持てるようになってきている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	町役場が近いことや、管理者が個人的に役場の担当者や親しいことから、相談に出かけたり、町役場からの訪問も度々あるなど、交流は頻繁である。		
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族あてに毎月1回、お便りを発行し、利用者の写真と暮らしぶり、金銭出納報告をしている。権利擁護を受けている人については、担当者が来られた時に印をもらっている。四季報の発行では、全体の暮らしぶりや事業所の報告をしている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に家族の代表者にも出してもらったり、意見箱の設置により意見収集などに努めているが、家族に配布する文書に外部者の記載はない。	○	第三者への意見表明機関として、町役場に加えて国保連合会や三重県社会福祉協議会などの苦情相談窓口も記載をしていただくことが望まれる。家族にも説明をして外部への意見表明の機会があることを知らせていただくことを期待する。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動はユニット間のみで行うが、ほとんど異動はしない。2ユニット間では往来が頻繁であり、利用者、職員ともよく馴染んでいる。担当者が変更した場合は報告をしているが、馴染めないような場合には、周囲のサポート体制ができています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	向上心を持って仕事に従事することを管理者は日ごろから薦めており、外部研修などには仕事の一環として出席してもらうなど、職員育成については積極的に取り組んでいる。ケアマネージャーが良いと思う資料などを積極的に職員に配布して勉強を促している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県グループホーム協会に所属して交流を図っている。多気町ではただ一つのグループホームであるが、他の福祉施設同士で集まり問題点を話し合うなどの交流に取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	自宅に面会に行き、ご家族と利用者での事業所見学を勧めている。要望があれば体験入居も受け付ける用意もあるが、家族と相談しながら馴染めるように工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者を尊敬し、寄り添いながら聞くということに重点をおきながらも、日々教えてもらうことも多く、学びあい支えあう関係をもっている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	寄り添い行動を観察することで訴えを汲み取り、職員間で情報の共有を図り対処している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族との話し合いでアセスメントシートを作成し、ケアマネージャーが介護計画書を作成している。その後カンファレンスで検討し家族のサインもいただいている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	基本的には3か月に1度の見直しを行っているが、変更のある人は随時行っている。一人ひとりについてのカンファレンスをユニットごとに行い、ケアマネージャーが計画に反映させている。ユニット担当者だけでなく、他方のユニットの職員も理解しており、全体で共有している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療法人が母体であり、事業所内に訪問看護ステーションが設置してあることから、看護師の24時間対応が可能であり、医療連携体制加算をとっている。サークル参加への送り迎えや買い物などに同行するなど必要に応じた柔軟な対応をしている。		
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	法人母体の病院から医師が1週間に1度往診をしてもらっている。通院の場合には母体法人から迎えに来てくれる。それ以外の個人的なかかりつけ医の方も往診をしてくれており、医療支援は行き届いている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	過去2人の看取りを経験しており、看護師も常駐していることから、看取り指針文書を作成中である。現在、事業所開設当初からの利用者の多くが一度にレベルダウンの傾向にあり、終末期対応が一度にくることも予想されている。終末期の看取り方針は家族と職員との話し合いで進めることで共有を図っている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	書類は事務所で保管されている。言葉かけなどはケア会議の中で常に話し合い、利用者の部屋は、その方の家という考えを徹底させ敬語で接することに心がけている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の意思を尊重して日々の暮らしを支援している。食事もその人なりのペースで、部屋で休むのもソファでテレビを見るのも、自由に行き来をするなど本人の意思で過ごしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	法人の管理栄養士が献立をたてるが、食材は地元の小売業者から仕入れて地域の付き合いを大事にしている。できる人は配ぜんや片付けにも積極的にかかわっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的に毎日沸かすが、入浴は本人の意思を尊重している。最低でも週1回は入浴してもらえるように声をかけをし、タイミングを図って入浴を楽しめるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	畑や囲碁、習字クラブなど、できるだけ参加できるように配慮している。音楽療法のボランティアにより和太鼓たたきや歌唱指導などでも楽しんでいる。特にモーツァルトが良いとの情報を音楽療法士から得て、BGMで流すことで、不穏が落ちつく効果を得られている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買い物などには日常的に出かけている。紫陽花の季節には足湯に行くなどできるだけ外出できる機会をとらえている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関でセンサーが働き出入りが分かるようになっているが、鍵はかけていない。夜間のみ施錠はしているが、利用者は自分でカギを開けて朝の新聞取りに出るなど、できる範囲で自由に出入りをしている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年1～2回の訓練で夜間想定もしながら行っている。セコムのセキュリティーと消防署への緊急連絡通報装置も付いている。が、公民館の避難場所までは病院側の協力がないと移動は困難である。	○	敷地もあり室内も広いので、地区の一時的な避難地としての提供も考慮されると、一層地域との密着度が増すと思われる。同時に、職員が夜間一人勤務であることを鑑みて、手順書を作っておかれることを希望する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士による献立で食事バランスはよく、摂取量の記録も行なわれているが、水分量については曖昧な面もみられる。	○	大まかな記録でもよいので、水分量の摂取チェックと記録をしていただくことが望まれる。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
t					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下や居間食堂など、全ての共用空間は広くゆったりして高級感にあふれている。光も柔らかく入り、モーツァルトのBGMが居心地の良い音になっている。居間にはソファや畳床がおかれ自由に過ごせるようになっている。季節感もさりげなく感じられるような飾り付けをしている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室はベッド以外はすべて持ち込みとなっている。机を持ち込んでいる人、来客用に椅子を持ち込んでいる人など、それぞれが居心地良く過ごせるように部屋づくりを工夫している。		